

# まだまだ現役 岩下スエさん 100歳を迎える

## 百寿



岩下 スエさん  
大正9年3月29日生 / 100歳

岩下スエさん(前里)が3月29日、100歳の誕生日を迎えました。  
鈴木重男町長は岩下さんのお宅にお祝いに訪れ「お元気な姿は若い人の夢や希望につながります。健康長寿の手本として、いつまでも長生きしてください」と祝い金や花束などを贈りました。  
現在も自分の身の回りのことは何でもできるスエさん。家族が感心するほどお元気です。近所に住むお子さんを案じて、天ぶらや彼岸だんごなどの手料理を届けることもしばしば。買い物や通院も一人でバスに乗って出掛けているそうです。



▷鈴木重男町長から花束を受け取り、100歳の誕生日を家族と一緒に喜ぶ岩下スエさん(前列中央)

# 第51回県立葛巻高等学校入学式 山村留学生16人含む49人が入学



岩手県立葛巻高等学校(木村基校長、生徒131人)の入学式は4月8日、同校体育館で新入生とその保護者らが出席して行われました。  
本年度の新入生は49人で、その内訳は、町内25人、町外8人、山村留学生16人。6年目を迎えた山村留学生は全校で29人になりました。  
木村校長は「知徳体を鍛え、社会の未来を担うたくましい大人になることを期待します」と式辞。続いて鈴木重男町長が「皆さんが大きく成長、発展し指導的な立場で活躍することを期待します。それぞれの夢がしっかりとかなう3年間にしてください」と祝辞を述べました。  
その後、新入生を代表して村井萌華さん(小屋瀬中出身)が力強く宣誓。新しい仲間と共にスタートした高校生活を前に、気を引き締めているようでした。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し、マスク姿で一定の間隔を保って臨んだ入学式。新入生たちの凛とした後ろ姿は、葛巻高校の歴史と伝統を継ぐ整然としたものでした。

# ミドリリアパレル中央株 布製マスク1600枚を寄贈



ミドリリアパレル中央株(坂本博之工場長、従業員34人)は4月3日、町長室を訪れ、子どもたちに向けた布製マスク1600枚を寄贈しました。  
新型コロナウイルス感染症に伴う全国的なマスク不足を少しでも解消し、新学期を迎えた子どもたちに安心して過ごしてもらおうと、同工場のほかベトナム工場で製造。町内の保育園児から高校生のほか、教職員らもそれぞれ2枚ずつ配布されました。  
同工場は、町がミドリ久慈衣料の姉妹工場として誘致。平成2年7月から操業し、普段は作業用ユニホームなどの製造を手掛けています。  
坂本工場長は「別工場でのノウハウを生かし、今回初めてマスクを生産しました。少しでもお役に立てればいいなと思っています」と子どもたちの安心な生活を願っていました。



4月17日、江刈保育園(中崎廣子園長囑託員、園児15人)の年長児5人がマスクのお礼にミドリリアパレル中央株を訪ね、「マスクを作ってくれてありがとうございます。大切に使います」と手作りのメッセージボードと葛巻保育園と小屋瀬小学校から預かってきた手紙を手渡しました。  
坂本工場長は「励みになります。社員みんなが見られる食堂に飾りたい」と喜んでいました。